

# ジュニア記者になって活躍してみませんか？

ジュニア記者は都筑区を中心とした地域の取材活動を通して、たくさんの体験ができます。年齢も学校も違う友だちもできて、楽しいですよ。記者になって活躍してみませんか？

7期生募集

## ジュニア記者になれる人は・・・

- ・2015年4月時点で、小学4年～高校生の方。
- ・2015年5月から2016年3月まで、年間を通しての編集会議や取材に積極的に参加できる方。
- ・都筑区に通える人なら、都筑区民でなくてもOKです。

ただし、会議や取材活動の場所は都筑区が中心です。



・パソコンでのメールの送受信ができる方。保護者の代行もOKです。データのやりとりや、特殊なウェブサイトを使得たりするため、携帯メールのみは不可です。

## 記者の活動について

- ・不定期で編集会議があります。
- ・取材は、夏休みや、平日の夕方、土日祝日に行います。
- ・保険料を含め、登録に500円かかります。
- ・取材のときの交通費や飲食代は自己負担です。

- 活動は2015年5月よりスタートします。締切は2015年3月末日まで。途中からの参加はできません。
- 応募者多数の場合、学年ごとに分けて抽選となります。お申込みは、名前、学年、連絡先を書いて、必ずPCメールから、応募してください。

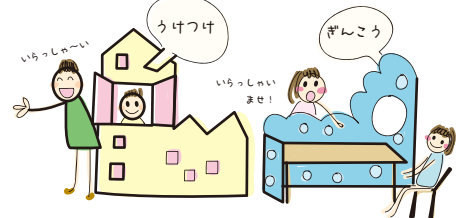
応募先：minicityplus@gmail.com まで。

# ★ ミニヨコハマシティ2015 4月3日(金)～5日(日)開催!! ★

子どもたちがつくる、子どもたちのまち「ミニヨコハマシティ」が今年も開催されます。

大人人口出し禁止！19歳以下の子どもたち「ミニヨコ」で、まちを一緒につくりませんか？

- ミニヨコ市民になれる人は・・・
    - ・保護者なしで会議に参加できる19歳以下の人
    - ・準備の会議に参加できる人
  - 会議の場所は横浜市営地下鉄ブルーライン中川駅から徒歩2分、ハウスケア横浜のカフェ～シェアリーカフェです。
  - 自分のお店を自分で考えて、開いてみたい人
  - 市役所や銀行などの公共を手伝ってくれる人
- 大人スタッフがサポートしますよ。  
みんなで楽しいまちにしましょう！



- 応募用紙は、HPからダウンロードできます。HPからの書類がなくても、名前、学年、連絡先を書いて [minicityplus@gmail.com](mailto:minicityplus@gmail.com) まで応募してください。

運営市民の締め切りは2月末までです

## 編集後記 大学生

今年は都筑区制20周年にともない、広報よこはまに取材記事を掲載することができ、ジュニア記者にとって貴重な体験となりました。取材活動以外にもジュニア放送局や青葉区とのトークバトルなど充実した活動ができました。私たち学生スタッフも、取材活動の引率として同行することで、なかなか知ることのできない企業や工場の見学ができました。また、取材交渉の際に必要な、ビジネスマナーなどを学ぶことができ、普段の学生生活ではできない貴重な経験をすることができました。



4年生 小山大輝/宮原竜輝/金森俊  
3年生 菊池なつみ/佐藤光広/瀬田かずみ/中島渉/松浦由佳

## つづきジュニア編集局のいままで、そしてこれから・・・

都筑区15周年、開港150周年の記念事業としてはじまった、つづきジュニア編集局ですが、区の主幹事業を離れて、東京都市大学の中村研究室とNPO法人ミニシティ・プラスが運営。とうとう6期となりました。

ここまで続けてこられたのは、紙面への取材に協力いただいたすべてのみなさま、広告を出して下さったみなさま、そしていつも好奇心いっぱいの子どもたちがいてこそです。私たち大人も子ども達と一緒にまちを探検し、まちの人たちと知り合うことができ、たくさんの学びがありました。これからも元気なジュニア記者の子どもたちと一緒に、新鮮な目でまちを見ていきたいと思ひます。

NPO法人ミニシティ・プラス 事務局 岩室晶子

第6号 2015(平成27年)年1月発行  
編集 つづきジュニア編集局(事務局 NPO法人ミニシティ・プラス)  
発行 NPO法人ミニシティ・プラス  
<http://junior.minicity-plus.jp/> (e-mail minicityplus@gmail.com)  
東京都市大学メディア情報学部 中村雅子研究室  
後援 都筑区役所  
ジュニアタイムズは印刷費を横浜読売会にご支援いただき、作成しています。



「TJ Times」は、「つづきジュニア編集局」の広報紙です。ぼくたち、わたしたちの未来、勉強中です！！

つづきジュニア編集局は、横浜開港150周年・都筑区15周年の節目にあたる平成21年に都筑区の記念事業としてはじまりました。現在小学4年生から高校生までのジュニア記者が、こどもの目線と力をフルに活かして、取材にいき、記事を書いています。

現在は、NPO法人ミニシティ・プラスが主催し、東京都市大学中村研究室がサポート、都筑区役所の後援を得て行っています。都筑区の魅力を発信するジュニア記者たちの活動にご期待下さい。

このジュニアタイムズの印刷費は、横浜読売会の協賛によりまかなっています  
ジュニア編集局のホームページ: <http://junior.minicity-plus.jp/>

## 都筑の魅力を探そう～ジュニア記者が歩く都筑区水と緑の散策！



都筑には、駅前にはにぎやかなショッピングセンターなどがある都市空間と、昆虫や蝶、鳥などが多数生息する緑道や公園、里山の自然の残る田園風景など、様々な顔があることをみなさん知っていますか？

都筑区は2014年11月6日に区が生まれて20年目になりました。その区制20周年を記念して、新しく住まれた方や区外から都筑を訪れた方にも、広く、都筑区の貴重な水と緑の環境資源や、歴史ある寺社などさまざまな魅力を知ってもらい、都筑区への愛着を深めてもらうことを目的として「水と緑の散策マップ」がつけられました。このマップ作成には、区民もメンバーとして加わったそうです。

### GOAL

最後にあじさい緑道を歩いて仲町台駅に戻る途中、大きなカボチャに遭遇！Kコースはなかなか歩きごたえのあるコースでした。



JA

この日はJAメルカートきたでおまつりをやっています。秋に収穫されたいろいろな野菜を中心に屋台もたくさん出ていて、すわるところもないくらいでした。



東方天満宮

さらにコースを進むと、再びお寺が見えてきました。3つ目のチェックポイント、東方天満宮です。ここには、学問の神様として知られる菅原道真公がまつられています。「合格」「学業成就」などと書かれた絵馬がたくさんかけられていました。梅の咲く季節には梅まつりでにぎわいます。



源東院

源東院貝塚

急坂

源東院



散策マップの15のおすすめコースのうち、私たちは「都筑の原風景をめぐり、あじさい緑道を歩くコース」を散策することにしました。このコースは仲町台駅から南のほうへ進み、東方・折本の農業地域をぐるっと一周するコースで、歴史を感じるお寺や神社も多くあるのが特徴です。今回は散策マップ制作に携わった川本久美子さんもガイド役として同行してくれることになりました。

朝8時30分仲町台駅を出発しました。南に進み、大通りにかかっている橋を越えた瞬間、そこには一面の畑が広がっていました。折本農業専用地区です。なかなか標高の高いところで、IKEAや横浜ランドマークタワーも見ることができました。

農道を進むと、農家の方が農作業をしている風景に出会いました。「都筑の原風景はこんなふうだったんだよ」と川本さん。農道を抜けて道沿いに歩くと、1つ目のチェックポイントの源東院がありました。1553年に開創された歴史のあるお寺で、すぐ上には貝塚(源東院貝塚)もありました。

途中、野菜の無人売り場があり、なんと水菜が「ご自由にお持ちください」とおいてあり、おいしそうなおみやげなども売っていました。農家の方がいらしたので記念撮影！

